

かるまいの議会だより

No. 203

平成27年10月28日



主な内容

- ☞ 一般会計決算を3年ぶりに認定 … 2
- ☞ 第4回（平成27年9月）定例会 … 6
- ☞ 一般質問に5人が登壇 … 12

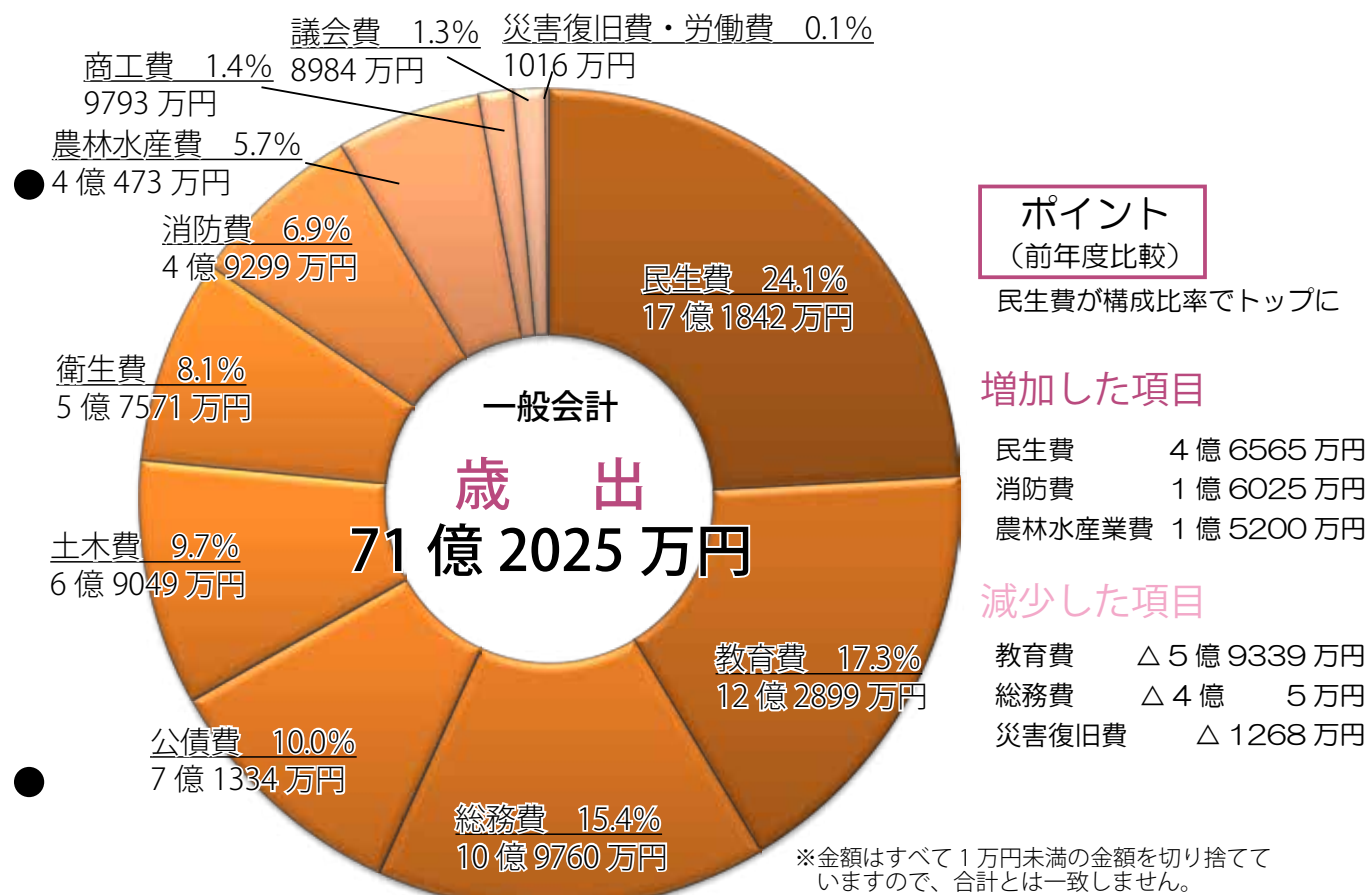
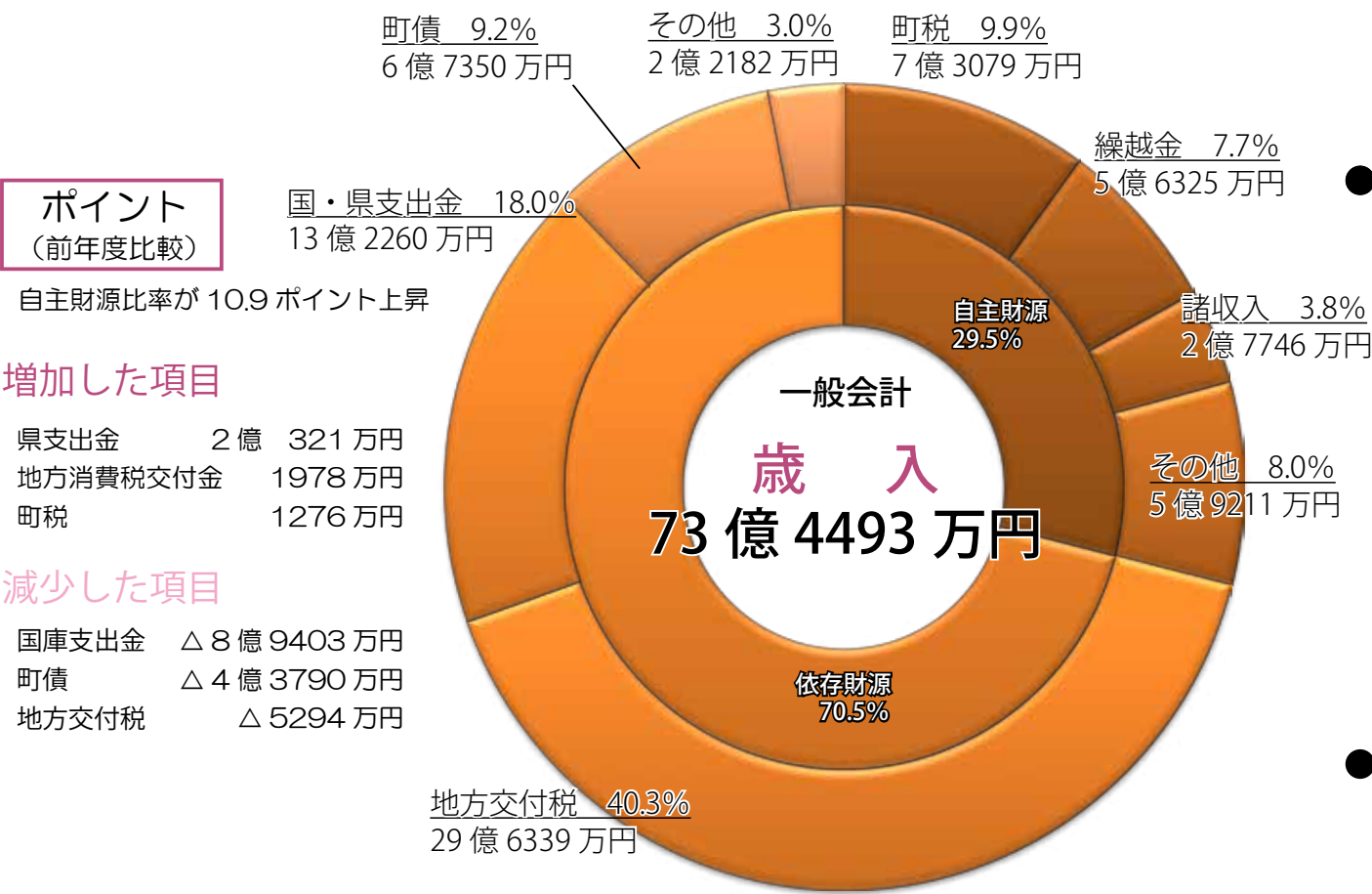
準備体操も楽しい種目

爽やかな秋晴れのもと開催された町民体育祭。開会前恒例の「かるまい健康体操」で体をほぐしながら、自然と笑みがこぼれる楽しい一日でした。

（10月4日 ハートフル・スポーツランド）

全会計歳出総額 95 億 3282 万円の決算を認定

一般会計決算は 3 年ぶり



平成 26 年度会計別歳入歳出決算総括表

会計別	決 算 額					採決 結果
	歳入 (収入)	不納欠損額	収入未済額	歳出 (支出)	翌年度繰越額	
一般会計	73 億 4493 万円	534 万円	9504 万円	71 億 2025 万円	1 億 8112 万円	認定
特別会計						
国民健康保険	13 億 5656 万円	85 万円	8931 万円	13 億 5389 万円	—	
下水道事業	1 億 5317 万円	—	11 万円	1 億 4546 万円	—	
介護保険	7186 万円	—	—	6829 万円	—	
後期高齢者医療	9003 万円	—	19 万円	8681 万円	—	
水道事業						
収益的収支	3 億 8795 万円	—	—	3 億 7747 万円	—	
資本的収支	2 億 1692 万円	—	—	3 億 8061 万円	6822 万円	
合 計	96 億 2146 万円	620 万円	1 億 8467 万円	95 億 3282 万円	2 億 4935 万円	

※金額はすべて 1 万円未満の金額を切り捨てていますので、合計とは一致しません。

9 月定例会では、平成 26 年度軽米町一般会計歳入歳出決算のほか、4 特別会計、水道事業会計の決算認定案件が提出されました。

決算等審査特別委員会を設置し、慎重審査を実施。一般会計の認定については一部反対もありましたが、全会計とも認定しました。

中でも、一般会計は平成 24 年度決算と同 25 年度決算ともに 2 年連続の不認定から、3 年ぶりの認定となります。

決算審査意見

(平成 27 年 9 月 8 日本会議場)



瀧澤 英敬
代表監査委員

一般会計の公債費比率・将来負担比率ともに減少

26 一般会計の収支は
1 億 8 千万円の黒字

一般会計の実質収支は 1 億 8 6 6 4 万 5 千円の黒字であるが、単年度収支では 3 億 3 4 9 5 万 7 千円の赤字である。特別会計のうち国民健康保険特別会計は、期中に他会計からの繰り入れが約 1 億 5 千万円で、うち法定外繰り入れが 7 千万円あり今後一層

の健全な財政運営を望む。基金では主要 3 基金のうち財政調整基金が 2 億 6 3 1 5 万円増加。財政健全化では実質赤字比率、連結赤字比率の計上は無く、実質公債費比率が 10・1 %と前年度から 0・8 ポイント低下。将来負担比率も 68・5 %と同じく 8・8 ポイント低下するなど、資金繰りや将来負担の度合いは良好と言える。

町民税と固定資産税
収入未済額が増加に

収入未済額は、一般町税が 4 8 7 万 5 千円増加。特に町民税が 2 5 4 万 3 千円、固定資産税が 2 2 2 万 8 千円増加している。国民健康保険税では前年度

う協力体制の構築、若年化する職員の研修の強化に配慮いただきたい。また健全財政の維持、自主財源の確保に努め町勢発展と福祉の向上をめざした総合発展計画の実現と、町の特徴を生かした総合戦略の策定を望む。

水道の安定運営と
財政健全化を望む

水道事業の運営は、水質事故等も無く安全で良質な水の供給に努められた。当年度の利益剰余金は 1 億 7 9 8 5 万円余りで、純利益は約 22 万円と前年度比

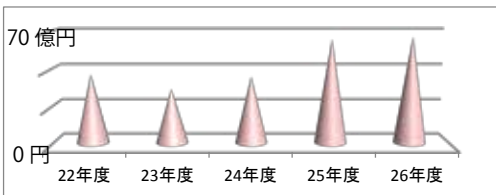
で 16 万円余り減少している。今後とも水道事業の効率化と経費の削減に努め、安定経営による町民生活の維持向上に寄与し、財政健全化にも考慮しながら取り組んでほしい。

職員数の減少などで業務過重とならないよ

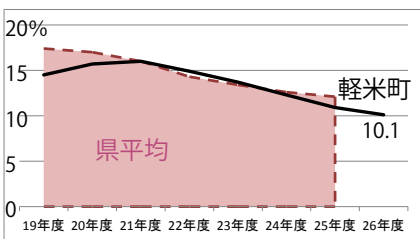
グラフと数字で見る 平成 26 年度一般会計決算

町債残高の推移【増加傾向】〔町債〕町の借入金

平成 22 年度	23 年度	24 年度	25 年度	26 年度
64 億 3649 万円	62 億 3825 万円	64 億 836 万円	69 億 1023 万円	69 億 4087 万円



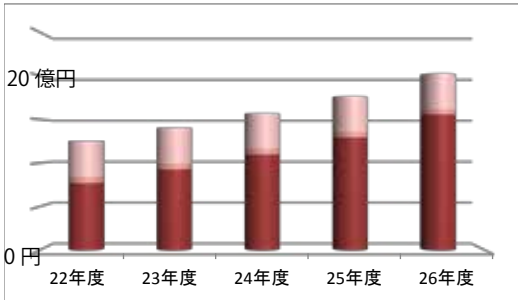
実質公債費比率の推移【低下・改善傾向】



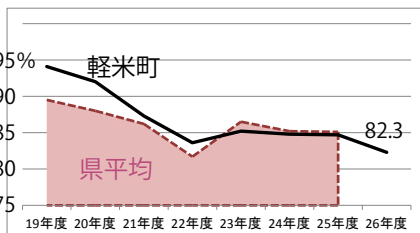
〔実質公債費比率〕借入金にあたる起債を行う場合の財政指標の一つで、比率が高いほど硬直性が高いことを示す

主な基金残高の推移【増加傾向】

	平成 22 年度	23 年度	24 年度	25 年度	26 年度
財政調整基金	7 億 7015 万円	9 億 2620 万円	10 億 9642 万円	12 億 9257 万円	15 億 5572 万円
町債減債基金	7299 万円	6962 万円	6630 万円	6297 万円	5959 万円
ふるさとづくり振興基金	4 億 747 万円	4 億 757 万円	4 億 775 万円	4 億 789 万円	4 億 802 万円
合計	12 億 5061 万円	14 億 340 万円	15 億 7047 万円	17 億 6344 万円	20 億 2333 万円



経常収支比率の推移【低下・改善傾向】



〔経常収支比率〕財政構造の弾力性を表す指標で、比率が高いほど経常剰余財源が少なく、財政の硬直化が進んでいることを示す

臨時会の結果報告

第 3 回臨時会 (平成 27 年 8 月 3 日)

契約案件 3 件を可決



町役場駐車場(写真)では庁舎等地中熱暖房システムと太陽光発電設備の工事が進められています(10 月撮影)

町役場駐車場に
太陽光発電設備

軽米町役場庁舎太陽光発電設備等設置工事の請負契約の締結に関する議決を求めることについて、原案のとおり可決しました。
* 契約金額は 1 億 1 9 3 万 4 0 0 円

〔全員賛成で可決〕

役場庁舎の暖房を
地中熱システムに

軽米町役場庁舎等地中熱暖房システム建設

工事の請負契約の締結に関する議決を求めることについて、原案のとおり可決しました。
* 契約金額は 4 億 4 9 8 万 9 2 0 0 円

〔全員賛成で可決〕

消防ポンプ自動車
購入契約を締結

財産の取得に関し議決を求めることについて、原案のとおり可決しました。
* 契約金額は 2 0 3 0 万 4 0 0 0 円

〔全員賛成で可決〕

再生可能エネルギー推進室を新設

担当窓口を一本化



9月18日の最終本会議（写真上）では、特別委員会に付託された議案14件の委員長報告と討論、採決のほか、同日提案された教育委員任命の同意案1件については投票採決（写真右）が行われました

教育委員を再任

【同意案①】 教育委員会の委員の任命に関し同意を求めることにについて、同意することに決定しました。
*氏名：関向玲子
*行政区：本町
*再任
〔賛成多数で同意〕

非常用発電機を更新

【議案①】 軽米町役場庁舎非常用発電機更新工事の請負契約の締結に関し議決を求めることについて、原案のとおり可決しました。
*契約金額は669万38400円
〔全員賛成で可決〕

普通財産の貸付けを無償可能に条例改正

【議案③】 軽米町財産の交換、譲与、無償貸付等に関する条例の一部を改正する条例について、原案のとおり可決しました。（廃校舎などの普通財産を無償で貸付できるようにする内容です）
〔全員賛成で可決〕

再生エ推進室を新設

【議案②】 軽米町課設置条例の一部を改正する条例について、原案のとおり可決しました。（再生可能エネルギー推進室を新たに設置する内容です）
〔賛成多数で可決〕

3条例を改正・廃止

【議案④】 軽米町個人情報保護条例の一部を改正する条例について、原案のとおり可決しました。（番号利用法の施行に伴い必要の改正を行う内容です）
〔全員賛成で可決〕

平成27年度一般会計予算を
66億8498万円に増額

※※※ 主な補正予算の内容 ※※※

一般会計補正予算（第4号）

※金額はすべて1万円未満の金額を切り捨てています

【歳入】 ・普通交付税（地方交付税1億33万円） ・地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金（国庫補助金3689万円） ・軽米西ソーラー事業用地発掘調査費（雑入608万円） ・役場庁舎等地中熱暖房システム整備等事業債（町債1280万円）	【歳出】 ・人事評価制度研修業務関係（総務管理費120万円） ・議会棟トイレ改修工事関係（総務管理費950万円） ・再生可能エネルギー発電事業推進専門員派遣業務関係（企画費364万円） ・軽米町地域活動支援事業費補助金（企画費100万円） ・いきいき岩手結婚サポートセンター運営負担金（社会福祉費5万円） ・エゴマ6次産業化拡大支援事業補助金（農業費147万円） ・二戸地区広域行政事務組合負担金（消防費1333万円） ・旧円子小学校校舎等解体工事関係（小学校費507万円） ・体育施設トレーニング用備品（保健体育費212万円）
--	---

晴小にタブレット購入

【議案⑦】 財産の取得に関し議決を求めることについて、原案のとおり可決しました。（町立小学校にタブレット型パソコン22台などを導入する内容です）
*契約金額1350万円
〔全員賛成で可決〕

平成26年度決算
全6会計を認定

【議案⑧】 平成26年度軽米町一般会計歳入歳出決算を認定しました。

〔賛成多数で認定〕

【議案⑨】 平成26年度軽米町国民健康保険特別会計歳入歳出決算を認定しました。

〔全員賛成で認定〕

【議案⑩】 平成26年度軽米町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算を認定しました。

〔全員賛成で認定〕

【議案⑪】 平成26年度軽米町介護保険特別会計歳入歳出決算を認定しました。

〔全員賛成で認定〕

【議案⑫】 平成26年度軽米町下水道事業特別会計歳入歳出決算を認定しました。

〔全員賛成で認定〕

平成27年度一般会計
5280万円余増額

【議案⑬】 平成26年度軽米町水道事業会計決算を認定しました

〔全員賛成で認定〕

【議案⑭】 平成27年度軽米町一般会計補正予算（第4号）で、歳入歳出とも5280万5千円を増額補正し、総額は66億8498万9千円となりました。

〔全員賛成で可決〕

【議案⑮】 平成27年度軽米町国民健康保険特別会計補正予算（第1号）で、歳入歳出とも3331万8千円を減額補正し、総額は15億6268万2千円となりました。

〔全員賛成で可決〕

再エネ推進室の体制に質疑

議案第2号と8号で賛否の意見分かれる

9月8日招集の本会議で提案された議案内容を審査するため、平成26年度軽米町一般会計歳入歳出決算等審査特別委員会（細谷地多門委員長）を設置し、議案14件を付託、審査を行いました。9月14日から17日まで開かれた同委員会での各委員からの質問と町当局の答弁内容について、概要をお知らせします。



9月14日から4日間にわたり条例改正、平成26年度会計決算、平成27年度補正予算などの審議が行われた平成26年度軽米町一般会計歳入歳出決算等審査特別委員会

議案第2号関連

【問】今の時期に再生可能エネルギー推進室を設置する理由は。

（町長）再生可能エネルギー事業を着実に進め、今後は環境面、防災面などで生じる町の責任への対処、また対事業者との関係、県との連携、町民説明などに担当部署を設置し対応していきたい。

【問】課と室の違いは何か。

（総務課長）地方自治法での規定は無いが、一般的に課は恒常的な場合に、室は特定課題や重点的に取り組む場合に設置されている。

【問】人員体制は。

（総務課長）当面2人体制とし、来年度から組織体制を含めて見直していきたい。

議案第8号関係

【問】太陽光発電パネルは償却資産として課税対象になるか。

（税務会計課長）課税対象となる。ただし家庭など小規模は対象外である。

【問】広報かるまいの編集体制と町勢要覧の作成状況は。

（総務課長）広報編集委員会を開きながら紙

平成26年度軽米町一般会計歳入歳出決算等審査特別委員会委員長報告



細谷地 多門
委員長

9月18日本会議場での委員長報告から

付託議案全14件を可と決した

議案第2号の再生可能エネルギー推進室の設置については、既存の課内に室を設けて進めるべきでなぜ単独の室が必要なのか、2人体制は無理があり不安を感じるなどの疑問や意見に対し、当局はスピード感のある事業推進と、強い取り組み姿勢を示したいとの答弁

議案第8号の平成26年度軽米町一般会計決算では、町長日程の公表を詳しくしたほうがよい、町ホームページの効果的な運用、雑穀ドレーシング不良品の回収、再生可能エネルギー推進計画の審議経過、メガソーラー事業計画面積の大幅縮小の

理由などについて質問があった。また民生費では、すこやかベビークリ金制度の拡充、ピヨピヨ広場設備の改善や施設の改修などに関心が高まった。産業分野では、6次産業化の方向性、観光入込客数減少への対応、いじめ問題への対応などに質問があった。

結果、議案第2号、議案第8号は賛成多数で可としたほか、ほかの7議案と5会計の平成26年度決算は全会一致で可と決しました。

審議全体を通して感じられたことは、答弁が「調べて、後から」というのが多い印象であった。

議案第8号は賛成多数で可としたほか、ほかの7議案と5会計の平成26年度決算は全会一致で可と決しました。

面の見直しを図ってきたい。町勢要覧は本年度の作成に向け作業を進めている。

【問】空き家調査の結果と今後の活用策は。

（総務課長）26年度は委託実施し、外観上の空き家調査を行った。本年度は持ち主の意向調査も行い、貸出可能物件を精査したい。

【問】自殺予防対策の26年度の事業実績は。

（健康福祉課長）保健師による訪問・相談活動のほか、町職員が揃いの青色ポロシャツを着ることで取り組みのPRを行った。

【問】県内のいじめ問題を受けて今年度実施した調査内容と結果は。

（教育次長）いじめに該当する状況の範囲を

広げて調査した。現在集計中だが、本年度数件あると聞いている。

【問】いじめ防止に向けた本町の具体的な取り組みは。

（教育次長）本町でも危機感を持ち、全校巡回や各校でのいじめ防止基本方針について取り組み状況の聴取・確認を行った。先生方には子どもの発するサインを敏感に受け止め、異常を感じたときには組織的な対応を徹底するよう指導している。

【問】エゴマ6次産業化事業支援の内容は。

（産業振興課長）エゴマ油の搾油機を導入するもの。現在生協などからの引き合いが多く生産奨励し作付面積も増やしている。生産・加工・販売までの6次産業化を支援したい。

【問】町民体育館に整備するトレーニング器具の管理運営方法は。

（教育次長）町スポーツ推進員に協力をお願いしていきたい。

【問】県で結婚サポートセンターを開設するが、町も橋渡し役として積極的に関わるなど人口減少対策を進めてはどうか。

（町長）これまでも町

全議案に賛成する。特に
も議案第2号は、太陽光
などの再生可能エネルギー
を企業誘致の一環として主
導的に進めるための推進室
を新たに設置しようとする
ものである。県内市町村で
は初となる農山漁村再生可
能エネルギー法に基づく基
本計画を策定し、これまで
にない施策として持続可能なまちづくりを目指す
ことは正に的を得ている。再生可能エネルギー担
当課を設置し業務の分担・明確化しようとする本
議案に賛成する。

全議案に
賛成



本田 秀一
議員

委員長報告に対する

賛成

の立場で討論

討論を紹介します

9月18日の本会議場での討論から要約しています

反対

の立場で討論

議案第2号に

反対



中村正志
議員

再生可能エネルギーは町の
活性化、町民の利益につ
ながると考える。しかし今
回の推進室の設置は、総務
課などと同等でしかも2人
だけの体制であり、特定業
務に専念できスピードアッ
プが期待できるというのは
疑問である。現状の総務課
内グループでの取り組みの
方が事務効率化、担当者不在の対応の課題解消、
より多くの職員の協力体制が得られるなど十分に
事務執行が効率的である。また今後職員の育成も
急務であることから、本議案には反対である。

議案第2号に賛成する。
再生可能エネルギー関連事
業を着実に推進するため、
再生可能エネルギー推進室
を設置し、事業計画の確認・
審査のほか農地転用や林地
開発手続きの円滑化が図ら
れると期待する。また事業
開始後における災害防止な
どのチェック体制も強化さ
れるのではないかと。地元、
山内地区で計画される
太陽光発電事業も着実に進められることを期待し
ている。

議案第2号に
賛成



上山 勝志
議員

全議案に賛成する。特に
も議案第2号は、今後町
内各地区の太陽光発電の計
画が具体化していく中で、
国・県との許認可事務、事
業者との協議・調整が多くな
ることが予想される。窓口
を一本化し、事務のスピー
ド化を図ることは最も
重要と考える。又、新たに
設置する室を、現在の課と同格とすることは、町
がこの事業に対して並々ならない決意で取り組む
という姿勢を示すことにもつながる。

全議案に
賛成



松浦 満雄
議員

議案第2号は、メガソー
ラー発電施設の全体面積が
膨大で、町の形を変えるよ
うな建設計画は町民の理解
を得た上で一緒に進めるの
が基本。推進室の仕事は企
業に代わって立地しやすい
ように便宜を図るものであ
る。また昨年度、一昨年度
の関連経費を含めると相当
な金額であり反対する。議
案第8号の一般会計決算は、
監査委員から3年連続で職
員の健康管理の指摘を受け、
依然として高い国保税など
を町当局に反省いただく意
味で認定に反対である。

議案第2号と
議案第8号に

反対



古館機智男
議員

議案第2号は、2人体制
のうち正職員1人再任用1
人というのは行政改革、機
構改革に逆行し、その機能
を果たすのは難しいのでは
ないか。今までどおり総務
課内で互いに協力し合って
いく形が良いと考える。
議案第8号の一般会計決算
の認定については、固定
資産未評価の問題が終結し
ていない状況にあって町当
局の認識の甘さを感じる。ま
たメガソーラーの計画面積
の縮小、企業誘致活動の出
張が不透明であることなど
から、認定には反対である。

議案第2号と
議案第8号に

反対



山本幸男
議員

議案第2号は、非核平
和宣言の町としても再生可
能エネルギーを推進し担当
部署を設置することには賛
成である。しかし2人体制
よりはむしろ4、5人の配
置で若い職員を充て、人材
育成を図ることが必要で
はないか。新年度から組織
体制を整えて提案いただく
ことを望む。議案第8号の
一般会計決算は、未評価、
課税漏れなどの事案が全
面的に解決していないと
認識する。再発防止策への
取り組み、町民への情報
公開などが必要であり、認
定には反対する。

議案第2号と
議案第8号に

反対



館坂久人
議員

議案第8号の一般会計
決算の認定に反対である。
再生可能エネルギー事業
計画が縮小したことに加え
て、平成28年度から実施
される人事評価制度につ
いて、平成22年度から25
年度まで研修費用が計上
されていたが、26年度は
ゼロであった。一転して27
年度では当初予算に加え、
今回の補正では100万円
超の増額措置としている。
昨年度、副町長が不在だ
ったことが事務執行上、影
響していたのではないかと
思う。以上から、認定に
は反対である。

議案第8号に

反対



茶屋 隆
議員

最終本会議で起立採決により賛否のあった議案の表決結果 (賛成：○、反対：×、欠席：欠)

議 員 名	中里 宜博	中村 正志	田村 せつ	川原 木芳蔵	上山 勝志	館坂 久人	茶屋 隆	大村 税	松浦 満雄	本田 秀一	細谷 地多門	古館 機智男	山本 幸男	賛成	反対	結果
議案名 (○数字は議案番号)																
②軽米町課設置条例の一部を改正する 条例 (新たに再生可能エネルギー推進 室を設置する内容)	×	×	○	○	○	×	×	○	○	○	○	×	×	7	6	可決
⑧平成26年度軽米町一般会計歳入歳 出決算の認定について	×	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	×	×	8	5	可決

※その他の同意案1件は賛成多数、議案13件は全員賛成で可決・認定されました



中村正志 議員

問

住民との情報共有で 協働のまちづくりを

答

今後一層の行政情報の提供に努め
百人委員会等の意見を反映させる



スポーツ・文化・観光部会など5つの部会で開かれている百人委員会

【質問】①町民への行政情報の不足を強く感じる。情報提供の積極的推進を図るうえで、現状の広報活動を検証する時期ではないか。
②町民との協働を進め

るには、町民目線が重要である。町民とのコミュニケーション重視による協働参画のまちづくりを進めるべきである。

【町長】①月1回の広報かるまい、月2回の広報かるまいお知らせ版、朝と夕方の情報連絡無線、かるまいテレビにより総合的に広報活動を行っているが、情報が十分に伝えられ

ていない部分を検証し見直していきたい。
②今後一層の情報提供に努めるほか、百人委員会など町民意見を反映させた町政運営に努めていきたい。

問

採用の年齢バランスと 臨時職員の賃金改善を

答

再任用職員の活用と新規採用
受験資格年齢の引上げで対応

【質問】①グループ制導入10年の成果・課題と今後の方向性は。
②人事評価の取り組みと実施の考え方は。
③職員採用における年齢バランスを図るべき。保育士等の臨時職員の賃金見直しを。
④職員研修に復興支援派遣を積極的に取り入

れるべきではないか。
【町長】①事務配分の効率化等の成果はあったが、更に事務の専門性が進むなど、今後は個人能力の向上、連携強化など改善を図っていききたい。
②平成28年4月の本格導入に向け、研修や試行を行っていく。

③職員のいびつな年齢構成には、再任用職員の活用や受験資格年齢の引上げなどで対応していきたい。
④復興支援の経験は貴重な研修の場と考えるが、派遣される自治体の意向や派遣職員の希望を優先して調整していきたい。

第4回 定例会



第4回定例会の一般質問は、9月10日に4名が、11日に1名が行い、町当局に対して9項目について質問しました。各議員の質問要旨と町当局の回答・姿勢についてご紹介します。

5人が一般質問に登壇

質問議員	質問事項
中村正志 議員 (13 ページ)	町民との情報共有による協働参画のまちづくり推進について
	人事行政について
茶屋 隆 議員 (14 ページ)	再生可能エネルギーについて
	保健医療福祉と高齢者福祉について
田村せつ 議員 (15 ページ)	幼児教育について
古舘機智男 議員 (16 ページ)	「地方人口ビジョン」と「地方版総合戦略」について
	メガソーラー建設について
松浦満雄 議員 (17 ページ)	農業振興について
	町道整備について

※質問要旨や回答内容は要約していますのでご了承ください。



田村せつ 議員

問

幼児期教育の環境充実へ 正規職員での対応を望む

答

子育て支援体制の充実に向け
新年度からの配置に努めたい



幼児期の教育環境の充実も子育て支援への重要な取り組みです

【質問】町内には3つの常設保育園と公立幼稚園など施設面では充実しており、また子育てに要する経済的負担の軽減など安心して子育てしやすい環境が整ってきている。しかしながら軽米幼稚園では、ここ数年クラス担任を臨時職員で対応するなど、保育士等の正

規職員が不足してはいないか。子育て日本一を目指す上でも、安心して保育業務にあたることができ、より質の高い幼児期教育の環境を整える意味でも正規職員での対応、雇用環境の充実が必要と考えるが、見直していく考えはないか。



町内すべての幼稚園、保育園で郷土芸能の「駒踊り」の練習・発表を行っています

【教育次長】幼児期は、人格形成の基礎を培う大切な時期であり、この時期に質の高い幼児教育を受けることは極めて重要である。本年3月に策定した「軽米町子ども子育て支援事業計画」においても、子どもを安心して産み育てられる環境づくりをすること、地域全体で子どもが健やかに育つ保育環境の整備、子育て支援体制の整備を図っていく必要があると認識している。保育士等の資格を持った正規職員が不足している状況から、ご指摘のとおり、現在軽米幼稚園では1クラスを臨時教諭が担当している。正規職員での対応について協議し、新年度からの配置に努めたい。



茶屋 隆 議員

問

メガドリーム施設整備の 具体的内容と進捗状況は

答

多機能を備えた施設が必要で
年度内に施設概要を固めたい

【質問】町長公約である町民誰もが楽しく快適に利用できるメガドリーム施設（多目的複合文化施設）建設について、具体的内容と進捗状況について伺う。

【町長】中心街地の活性化、多様な世代の交流、老朽化している図書館などの整備が必要なことから、これらの機能を兼ね備えた施設が必要と考える。町商工会が町民ニーズをもとに策定した「賑わい創出多世代交流駅整備調査事業報告書」をもとに、本年度内に施設概要を固めたいと考えている。



本年3月に軽米町商工会で策定した「かるまい交流駅（仮称）賑わい創出多世代交流駅整備調査事業報告書」

問

いちい荘改築の 整備計画を示せ

答

社会福祉協議会と協議し
助成制度等を検討したい

【質問】特別養護老人ホームいちい荘の老朽化による雨漏りを把握しているか。また町長は建て直しについて言及したと聞くが、整備計画と町の関わり方について伺う。



特別養護老人ホーム「いちい荘」の老朽化に伴う改築が求められています

【町長】いちい荘は町社会福祉協議会で管理・運営されており改築について計画されていると聞く。町としては同会と協議しながら、同様に老朽化が進む老人福祉センターの整備とともに、施設整備費の助成制度等を検討していきたい。



松浦満雄 議員



稲刈り作業が進められている小軽米地区圃場（中央奥が小軽米小学校）

答

国・県とも関連予算が削減
関係者に事業説明をしたい

問

小軽米地区の水田圃場
整備事業の進捗を伺う

【質問】小軽米地区の中山間地域総合対策事業（水田圃場整備）の進捗状況を伺う。
【産業振興課長】同地区の水田圃場整備は、軽米町過疎地域自立促進計画などで計画された重要な事業の一つである。しかし国予算の大幅削減や県財政も非常に厳しく新規採択の抑制や既存県営整備事業等も大きく遅れている状況にある。昨年実施したアンケート結果と併せて圃場整備事業について、今年中に県と共に説明を行いたい。

問

通学路の渋滞緩和に
改良・拡幅の考えは

答

県道は改良整備を強く要望
町道の植樹帯撤去など検討



県道軽米二戸線から軽米中学校（写真奥）へと向かう町道周辺の道路改良が求められています

【質問】学校統合した軽米中学校では、通学時間帯の交通渋滞がさらに問題となっていると聞く。安全確保や渋滞解消に向けた通学路の整備の考えはないか。災害時の避難場所にも指定されており、町中心部からの町道拡幅の考えはないか。
【地域整備課長】本年5月に設置した軽米町通学路安全推進協議会（教育委員会所管）で、緊急合同点検や学校から出された要対策箇所の検討会を予定している。ご指摘の県道二戸軽米線はルート変更などの改良が必要であり、県への要望を強く行っていく。町道荒町中学校線の植樹帯の撤去などを含め総合的に判断していきたい。



古舘機智男 議員

問

総合戦略の策定状況は
住民の声を反映させて

答

本年10月末までに策定したい
委員の委嘱やアンケートを実施



地方版総合戦略の策定に多くの町民意見を取り入れて人口減少対策などを議論することが求められています

【質問】①これまで諸々の取り組みの反省を踏まえた「人口ビジョン」「総合戦略」が求められる。計画策定への基本姿勢、決意について伺う。
②町総合戦略会議の設置要綱、委員の選出基準等について伺う。
③住民の声や、思いをどう汲み上げ反映させていくのか伺う。
【町長】①将来的な人口減少は現実として受け止めながら、子育て施策の充実や住環境の整備などで社会的増減をゼロにし合計特殊出生率を2・22（過去15年間の最高値）とするなどで人口減少を極力抑制したい。10月に予定する第4回委員会では成案を得て、10月末日までに策定したい。
②多様な機関との連携を考え、産業4名、行政1名、教育1名、金融2名、労働1名、マスコミ1名、学識2名、農業1名、子育て2名、高齢者団体1名、体育1名、文化1名の各分野から公募2名の計20名に依頼している。
③策定委員の半数以上が町民であるほか、アンケートを一般町民、高校生、在京会、新成人など1300人余りから実施している。

【質問】①メガソーラー事業の進捗状況は。
②環境状況調査の必要性について、いかに考えているか。
③山林開発を伴うメガソーラー計画は、農山漁村再エネ法がめざす農林業の健全な発展に本當につながると考えるか。
④自然環境が本當に守られるのか理解しやすいよう示せ。
【町長】①従前からの3地区は順調に推移している。笹渡・長倉・小松等の事業区域は本年3月に経済産業省の認定を受け、現在は林地開発申請の準備を進めている。
②町から計画事業者へ依頼し行った。自然景観や環境の保全に十分に配慮するよう指導していきたい。
③協定書等に基づき、売電収益の一部を寄付いただき、基金として農林業振興に活用するなどしていきたい。
④貴重な財産である自然景観の保全に十分配慮するよう、景観保全等に関する協定の実行に向けて指導・助言していきたい。

答

町から環境調査を依頼
自然景観の保全に配慮

問

メガソーラー
環境へ配慮を



報告
茶屋 隆
編集委員長

視察した両議会ともに活発に意見交換することができ有意義な研修であった。レイアウトから文章づくりまで、編集作業のほとんどを委員が分担して、全員が協力していて、それが議会の活性化にもつながっていると感じた。私たちもこれまでの事務局任せから、自分たちの手でよりよい広報紙を作っていきたい。

研修レポート①

- ✳研修月日 平成27年7月6日(月)～7日(火)
- ✳研修場所 宮城県川崎町、山形県川西町(議会広報紙作成)
- ✳参加委員 茶屋 隆、中村正志、山本幸男、松浦満雄、上山勝志、田村せつ



宮城県川崎町議会では議場でお話を聞かせていただきました

宮城県川崎町議会【H26 優秀賞(全国3位)】 見やすい紙面に余白を活用

より良い紙面づくりに向けて一昨年、山形県川西町議会で研修を行い、昨年度全国3位に入賞した。

発行までの委員会開催は5回程度でほぼ一日作業にあたる。各委員に担当ページを割り当てし責任をもって校正まで行う。

一般質問は本人が広報用に750字以内にまとめ、編集委員会で更に100字に要約する。(答弁も同様)

議事録形式ではなく、ページ紙面に余白をつくるなど見やすい紙面で、専門用語は避けている。重要案件を掲載し、住民が必要しない内容は載せないなど、住民目線の編集が徹底しているのが特徴である。

*かるまい議会だよりへのアドバイス

- ・町民登場、町民の声を取り入れてはどうか
- ・町民が知りたいこと、関係が深い部分を取捨選択して取り上げたほうが良い
- ・一般質問の問答での見出しを1行に要約したほうが見やすくなるのでは
- ・文字の量が多く感じるのでページ数を増やしては
- ・町民に作ってもらう、ぐらゐの発想で
- ・まずは「真似る」ことからやって良いと思う

山形県川西町議会【H26 最優秀賞(全国1位)】 関心高い住民登場コーナー

昭和60年の創刊当初から、議員のみで編集、定例会翌月15日に発行、質問答弁は本人が書く、の3つを伝統的に守っている。写真も担当委員を決めて議員自らが撮影している。

写真と文章にそれぞれアドバイザーを依頼。以降4年連続で入賞するなど外部の「目」を大事にする。

見出し、写真の配置を大きく使い、インパクトのある表現を心掛けている。

住民参加コーナーは読み手にも関心が高い。町内各地区を順番にお願いしている。

最高で8校まで校正し、時には印刷会社で最終校正を行うことがあるほどで、編集委員の熱意が感じられた。



川西町議会で加藤俊一議長(左)から全国表彰のお話を伺いました

研修レポート②

- ✳研修月日 平成27年9月24日(木)～25日(金)
- ✳研修場所 宮城県内(農業生産法人、廃校舎利活用)
- ✳参加委員 細谷地多門、上山勝志、山本幸男、松浦満雄、大村 税、茶屋 隆、川原木芳蔵



農業生産法人(株)GRAではイチゴのブランド化などの話を伺いました

大震災が契機に 故郷復興に若者が Uターンし起業

農業生産法人(株)GRA

地場産業であるイチゴ農家が東日本大震災で施設や土壌塩害など壊滅的な被害を受けたことをきっかけに、Uターンの若者(岩佐大輝代表)が呼びかけ故郷の復旧・復興をと始めたボランティア活動が、産業再生、雇用創出などへと発展、起業へとつながってきた。

イチゴの通年栽培、ギフトとしてのブランド化と関連商品の開発、生育データの収集・活用による温度、水遣り、施肥等のIT管理などが特徴。

地場の産業を再度見直し、農業と若者を結び付けようと自らを雇用の受け皿として位置づけ、農業経験の少ない若者、女性の就労の場を創り出している。



IT制御で空調などを管理されたハウス栽培を視察

農商工連携モデル 工場排熱を利用し 施設燃料費を削減

(株)ベジ・ドリーム栗原

宮城県大衡村のトヨタ自動車東日本工場に隣接する第3農場を見学した。

自動車生産工場から排出される熱源を利用(コージェネレーション)し、パブリカの温室栽培で25%の燃料コスト低減を実現している。施設園芸によるパプリカ栽培は通常コストの4分の1が燃料費と言われる中、工場排熱を利用することでその4割程度の削減につながっている。燃料費の削減の実現に排熱を利用するモデルとして参考になると感じられた。

廃校舎活用モデル 廃校舎の福祉利用 無償のメリット大

社会福祉法人ふれあいの里

平成19年に廃校となった小学校を改修し、就労支援、自立訓練、生活介護といった幅広い障害福祉サービスを提供する。建物は登米市から無償で借り受け、弁当などの配食事業やクリーニング事業を展開。改築等の建物利用には制限があるが比較的新しい建物は無償使用のメリットが大きい。県立高校の廃校舎の利活用の話もあるが有償だと経費面のメリットがなくなる。



内田幸雄施設長(左奥)から校舎利用の状況を伺いました

産業建設



報告
細谷地多門
常任委員長

今回の研修は、東日本大震災後の産業の復興状況やITなどハイテク技術を活用した未来の農業形態への取り組みについて研修したほか、当町でも抱える廃校舎の利活用について、ポイントを絞って実施した。現地に行き自分たちの目で見て携わる方々の話を直に聞くことで非常に勉強になり有意義な研修であった。

カシオペア連邦の共通課題に理解深める



【左】平成27年度総会・研修会
【上】パークゴルフ交流大会

二戸管内4市町村議会で構成するカシオペア連邦議会議員協議会の総会・研修会が7月26日、二戸ロイヤルパレスで開催されました。本年度の事業計画と予算案を決議したほか、介護保険事業の状況について二戸地区広域行政事務組合の泉山收正介護保険推進室長が講演。本年4月から実施されている第6期事業計画に関して理解を深めました。

10月16日には稲庭高原でのパークゴルフ大会を開催。スコアを競い合いながら交流したほか、現在修復が進められる天台寺の文化財保護活動についての講演に耳を傾けました。

北部地区議長会が55周年



北部地区町村議会議長会（軽米町・一戸町・洋野町・九戸村・野田村）の創立55周年記念事業が10月2日に開かれました。ジャーナリストの高野猛氏による記念講演のほか、記念式典では歴代の会長5名に感謝状が贈られました。

新人議員行政視察研修〔7月21日～22日〕

音更町議会を表敬訪問

本町新任議員による音更町表敬訪問は7月21日に実施し、新任議員5人に松浦求議長が同行しました。音更町役場では音更町で取り組む施策等を紹介いただいたほか、議会議場などを見学。町内視察では音更町文化センターや大川宇八郎顕彰碑などを巡りました。また音更町議会による歓迎会を開いていただくなど両町の交流を深めました。



音更町議会小野信次議長（前列右）と同佐藤和也副議長（前列左）から町内を案内いただくなど歓迎いただきました

音更町との姉妹締結30周年を迎えた本年4月、両町で町議会議員選挙が行われました。初当選した音更町議員8人と軽米町議員5人がそれぞれお互いの町を表敬訪問しながら、交流を行いました。

今年で3年目 パークゴルフはつらつ大会 参加者大募集！



町民の皆さんとの交流を目的に「パークゴルフはつらつ大会」を今年も開催します。パークゴルフ初心者の方も歓迎します。お誘いあわせてご参加ください。

- ◎日 時 **11月18日(水)**※雨天決行
受付8:00～／開会式8:50～／プレー開始9:00～
- ◎場 所 ハートフルスポーツランド・パークゴルフ場
- ◎対 象 町民の方（町出身者などゆかりのある方も歓迎）
- ◎参加費 一人1,000円（昼食、保険代含む）
- ◎期 限 11月10日（火）まで
- ◎申込先 議会事務局（☎46-4745）
パークゴルフ場（☎46-3889）
又は、お近くの町議会議員まで。



音更町との交流深める



本町到着後の研修会で挨拶を行う音更町議会の佐藤和也副議長（左）

役場玄関先では、本町議会議員全員で到着を出迎え、記念撮影。その後の研修会では、本町の取り組み施策等を山本町長が紹介したほか、両町議員による1分間スピーチを行いました。また懇親会も催され、両町議会の交流を深めました。翌日は町内視察を行い、雪谷川ダムフォリイ、雪谷川・軽米や歴史民俗資料館を見学。ちようど収穫時期を迎えたリンゴ「ジョナゴールド」の収穫体験も行い、軽米町のお土産として持ち帰りいただきました。

本年4月の音更町議会議員選挙（統一地方選挙）で初当選された新任議員8名と佐藤和也副議長、事務局2名の総勢11名が、10月20日に来町されました。

音更町新任議員8名が来町

〔10月20日～21日〕

町議会の動き

(平成 27 年 7 月～ 9 月の主要な行事)

月	日	曜	行 事 名
7 月	6	月	議会報編集委員会視察研修 (山形県、宮城県 ～7日)
	8	水	産業建設常任委員会
	20	月	姉妹町音更町新人議員行政視察 (～ 23 日)
	23	木	夏季議員大学講座 (盛岡市、～ 24 日)
	29	水	県への市町村要望
8 月	31	金	臨時会議会運営委員会
	3	月	第 3 回軽米町議会臨時会 町議会全員協議会③、町政調査会幹事会①
	10	月	町政調査会幹事会②、第 1 回会議
	15	土	町成人式
	20	木	三県合同中央研修会 (東京都、～ 21 日)
9 月	24	月	二戸地区広域行政事務組合議会第 2 回臨時会
	25	火	二戸地区広域行政事務組合議会全員協議会
	26	水	カシオペア連邦議会議員協議会総会・研修会 (二戸市)
	1	火	定例会議会運営委員会④
	2	水	町政調査会幹事会③
9 月	4	金	産業建設常任委員会③、議会運営委員会④
	5	土	町内幼稚園・保育園運動会
	8	火	第 4 回軽米町議会定例会本会議 (会期；～ 18 日) 町議会全員協議会④、町政調査会②
	10	木	定例会一般質問 (～ 11 日)、町政調査会幹事会④
	11	金	議員全員協議会⑤、町政調査会③、議会報編集委員会⑤
	14	月	平成 26 年度軽米町一般会計決算等審査特別委員会 (～ 17 日)
	15	火	議会報編集委員会⑥
	17	木	議会運営委員会⑤
	18	金	総務教育民生常任委員会②、議会報編集委員会⑦
	19	土	町敬老会、軽米秋まつり
	20	日	町消防演習、軽米音頭流し踊り
	24	木	産業建設常任委員会視察研修 (宮城県、～ 25 日)
	26	土	県立軽米病院環境整備ボランティア活動

町政調査会の活動報告

*町政調査会とは、議員が自主的な調査・研究・懇親などを目的に組織し活動しています



町議会町政調査会 (大村税会長) は、軽米秋まつり中日に開催される軽米音頭流し踊りに、初めて参加しました。行列最後尾の町役場職員とともに、議員 10 名が浴衣姿で踊り歩きました。

9 月 26 日には 3 年目となる県立軽米病院の環境整備を実施。町シルバー人材センターからの「助っ人」にも協力いただきながら総勢 50 名で立木の支障枝の切り落としや庭木の剪定などを 2 時間かけて行いました。



議長交際費

※お祝い等(会費含む)
7 月 5 件 18,034 円
8 月 3 件 16,000 円
9 月 4 件 16,000 円
※議長交際費は議長が町議会を代表して対外的な行事等へ参加する際の経費で、主に各団体の総会等の会費です。詳しくは町ホームページをご覧ください。

二戸広域議会の報告

二戸地区広域行政事務組合議会臨時会 (平成 27 年第 2 回、松浦求議長、古館機智男議員出席)
* 8 月 24 日 (月)
* 二戸地区衛生センター

* 付議事件

① 監査委員の選任に関し同意を求めることについて
↓ 欠員だった監査委員に田村隆博氏 (二戸市議)

を選出しました

② 財産の取得に関し議決を求めることについて
↓ 消防車両を 1 台購入

③ 平成 27 年度一般会計補正予算 (第 2 号)
↓ 歳入歳出とも 1609 万 2 千円増額し 29 億 2029 万 2 千円とするもの

* 全議案とも可決

* 報告

① 二戸地区広域行政事務組合一般会計継続費の報告について

② 専決処分報告について (公用車両の事故に伴う損害賠償)

決算認定

けっさんになんてい

議会のほてな？
しくみを教えて！

町の予算執行を確認

町 (町長) が行った一年度分の予算執行の実績について、議会が内容を審査し、収入・支出が適法かつ正当に行われたかどうかを確認します。

8 月までに作成

決算は出納閉鎖 (5 月末日) 後、3 か月以内に作成することとされています。地方自治法で議会の議決事件と定めていて、町長は監査委員の意見を付けて次の当初予算を審議する前に議会の認定に付さなければなりません。例年、軽米町では 9 月定例会で審査されています。

予算は見積り

予算は予定的な見積りで、そのとおり執行されるときは限らないことから、改めて実績・

認定と不認定

結果について監視し、財政運営の適正を期すことを目的としています。

決算認定の意義は町 (町長) の予算執行の政治的責任を解除するにあります。なお必ずしも認定ばかりでなく、審査の結果法令違反など重大な問題がある場合には不認定とすることもあります。この場合、予算の法的効力には影響ありませんが、執行者として町長の道義的責任が問われることがあります。

公表を義務付け

決算が認定されると、町 (町長) は県知事に報告し、また住民に公表しなければなりません。

町議会を傍聴しませんか



町民の皆さんの生活に直結した問題や案件が審議されている町議会は、どなたでもご覧いただくことができます。

町政について知識を深め身近に感じていただくためにも、ぜひ町議会の傍聴をお奨めします。

町議会は、年間を通じて開催される定例会は、3 月、6 月、9 月、12 月に開かれるほか、特定の案件について設けられる臨時会も随時開かれます。

詳しい日程は、議会開会前の一週間から数日前に決定しま

町議会定例会 (本会議) の模様は「かるまいテレビ」でもご覧いただけます

「かるまいテレビ」では、本会議場 (招集日、一般質問、最終本会議など) の様子を録画・編集し、定例会終了後、約 2 週間程度の期間で放送しています。

すので、決まり次第町ホームページや「かるまいテレビ」、情報無線放送でお知らせしています。詳しくは、町議会事務局 (☎ 46・4745) までお問い合わせください。

かるまい町に住んでみて

不安の中の引越

北上市から軽米町に引越して2年半になります。県外出身の私にとって、県北の「かるまい?」はまったく未知の土地で、北上市で築いてきた生活をすべて手放し、見知らぬ土地でのゼロからの生活は正直言っても不安でした。

豊かな自然には厳しさも

実際に来て、自然の豊か



よこた りょうこ
横田 涼子さん
岐阜県出身
夫・長男・長女の4人家族

夫・長男・長女の4人家族

さと厳しさに圧倒。5歳の息子は虫が大好きで、部屋の網戸にルリボシカミキリが留まっていたり、幼稚園にあるミズナラの木でカブトムシやクワガタムシが捕まえることができたりと、彼にとってはまさに天国です。私は生まれて初めてヤマセを体験。不思議な気候にとっても驚きました。

夏が涼しく過ごしやすいため、凍てつく冬の寒さとドカ雪に圧倒され、気候の厳しさを肌で感じました。

託児所などの充実を

軽米町は高校生（18歳）までの医療費無料化など、子育て支援が充実しているほか、幼稚園の保育料も非常に安く、経済的な面で助かっています。

反面、保育所での一時保

育や託児所、ファミリーサポート制度がなく残念です。私たちのような県外出身の夫婦などは両親などに頼れなく、3歳未満の子どもを預けたくても仕事に就いていることが条件があったり、下の子が幼稚園に入るまでは、上の子の園行事や自分の通院などすべてに連れて歩かなければならず苦労しました。一時保育や病時保育施設があるともっと良いですね。

豊かな自然を大切に

豊かな自然と夏の冷涼な気候は町の財産だと思います。子どもたちはここでのびのびと幼児期を過ごすことができて幸せです。こうした豊かな自然環境を大切にしていけば、気候の異なった地域の方々にもきつと町の良いところが伝わっていくと思います。

編集後記

初当選してから半年が経とうとしています。やっとこの頃、自分は「議員なんだ」という意識が少しずつ芽生えてきたところです。

議会報編集委員会に所属。先進地視察研修にも行き、広報編集について勉強をしました。

読み手である町民の方々が「あつ、これなら読んでみたいな」と思えることをテーマに、委員それぞれに担当を決め編集に頑張っています。

読んでいただいて、「こはこうしたほうが良いな」などのご意見をお寄せくだされば幸いです。

議
会
報
編
集
委
員

田村 せつ

お知らせ

パークゴルフはつらつ大会

11月18日（水）開催

参加者大募集！

詳しくは、21 ページを
ご覧ください

かるまい
議会だより

発行日 平成 27 年 10 月 28 日発行 (No. 203)
 発 行 軽米町議会
 編 集 議会報編集委員会
 〒 028-6302 岩手県九戸郡軽米町大字軽米 10-85
 TEL 0195(46)2111 / FAX 0195(46)2335
 U R L <http://www.town.karumai.iwate.jp/>

議
会
報
編
集
委
員
会

委員長	茶屋 隆
副委員長	中村 正志
委員	山本 幸男
〃	松浦 満雄
〃	上山 勝志
〃	田村 せつ